

管理サーバの IP アドレス(ホスト名)変更手順

対応バージョン

SSC2.1、SSC2.1 Update 1、SSC2.1 Update 2、SSC2.1 Update 3

概要

管理サーバのIPアドレス (ホスト名) の変更による影響、注意点について説明します。管理サーバのIPアドレス (ホスト名) を変更する場合は、以下を参照してSSCの各コンポーネントの設定変更を行ってください。

【管理サーバの IP アドレスを変更する前に】

管理サーバ for DPMまたは、DPM のデータベースを管理サーバにインストールしている場合、管理サーバの IP アドレスを変更する前に DPM の設定変更が必要になります。まず、【DeploymentManager での設定変更】を参照して、DPM の設定変更および管理サーバの IP アドレス変更を行ってください。その後、【SystemProvisioning での設定変更】～【ESMPRO/ServerManager, ServerAgent での設定】を参照して各コンポーネントの設定変更を行ってください。

【DeploymentManager での設定変更】

管理サーバ for DPMまたは、DPM のデータベースを管理サーバにインストールしている場合、以下の手順に従って設定変更してください。管理サーバ for DPM への接続には、IP アドレスを使用します。そのため、管理サーバのホスト名を変更する場合、DPM では設定の変更は必要ありません。

1. DPM に関する処理を終了してください。

注: 以下の処理がすべて終了していることを確認してください。

- ・ シナリオ実行中ではないこと (シナリオを実行中の場合は、シナリオが完了するまで処理を行わないでください。)
 - ・ DPM の各種ツール類を起動していないこと
-

2. 管理サーバに管理サーバ for DPM をインストールしていない場合は、手順 4 へ進んでください。
3. DPM の Web コンソールで [詳細設定] 画面の [全般] タブの [IP アドレス] を確認し「ANY」以外を選択している場合、[IP アドレス] の設定を「ANY」に変更してください。
4. 管理サーバの IP アドレスを変更します。
5. 管理サーバに DPM のデータベースをインストールしていない場合は、手順 11 へ進んでください。

6. 管理サーバ上で[スタート]メニュー - [ファイル名を指定して実行]を選択し、実行するプログラムの名前に「regedit」を入力して[OK] クリックしてください。

注: 管理サーバ for DPM を SSC の管理サーバ以外にインストールしている場合、手順 6-10 は管理サーバ for DPM をインストールしたマシンに管理者権限を持つユーザでログオンして行ってください。

7. レジストリエディタが起動されますので、以下のレジストリの「値のデータ」を確認してください。「127.0.0.1」が設定されている場合は、手順 11 へ進んでください。変更前の管理サーバの IP アドレスが設定されている場合は、変更後の管理サーバの IP アドレスに変更してください。

注: 管理サーバ for DPM と DPM のデータベースを同じサーバにインストールしている場合は、「値のデータ」に「127.0.0.1」を指定することができます。

・IA32 アーキテクチャマシンの場合：レジストリパス：
HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥NEC¥DeploymentManager
値の名前:DBSrvIPAddress

・EM64T アーキテクチャマシンの場合：
レジストリパス：
HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥NEC
¥DeploymentManager
値の名前:DBSrvIPAddress

8. [スタート]メニュー - [コントロールパネル] - [管理ツール] - [サービス]から、以下のサービスを停止します。

| サービス名 |
|---|
| DeploymentManager API Service |
| DeploymentManager Backup/Restore Management |
| DeploymentManager Client Management |
| DeploymentManager client start |
| DeploymentManager Get Client Information |
| DeploymentManager PXE Management |
| DeploymentManager PXE Mtftp |
| DeploymentManager Remote Update Service |
| DeploymentManager Scenario Management |
| DeploymentManager Schedule Management |
| DeploymentManager Transfer Management |

9. 使用している OS のアーキテクチャに応じて、以下の操作を行ってください。

・IA32 アーキテクチャマシンの場合:[スタート]メニュー - [コントロールパネル] - [管理ツール] - [データソース(ODBC)]を選択します。

・EM64T アーキテクチャマシンの場合:[スタート]メニュー - [ファイル名を指定して実行] を選択して、実行するプログラムの名前に「%WINDIR%\SysWOW64\odbcad32.exe」を入力して、[OK]をクリックします。

10. ODBC データソース アドミニストレータが起動されますので、[システム DNS]タブを選択します。

[システム データソース]の一覧から[DPM]を選択して[構成]ボタンをクリックします。



以下の画面が表示されますので、[接続する SQL Server サーバー名を入力してください。]の[サーバー]で変更するデータベースサーバを選択後、IP アドレス部分を新しい管理サーバの IP アドレスに変更して[完了]ボタンをクリックし、その後に表示される[ODBC Microsoft SQL Server セットアップ]画面で[OK]をクリックしてください。



11. 管理サーバを再起動してください。

注: 管理サーバ for DPM を SSC の管理サーバ以外にインストールしている場合、管理サーバ for DPM をインストールしたマシンも再起動を行ってください。

12. 管理サーバに管理サーバ for DPM をインストールしていない場合は、設定完了です。
13. 管理サーバの再起動後、変更前の管理サーバの IP アドレスを使用して DPM の Web コンソールに管理サーバ for DPM を登録していた場合、IP アドレスを変更した管理サーバ for DPM を削除してください。
「127.0.0.1」を使用して DPM の Web コンソールに管理サーバ for DPM を登録していた場合、手順 15 へ進んでください。
14. 削除後、DPM の Web コンソールで変更した IP アドレスで管理サーバ for DPM を追加してください。

注: 管理サーバ for DPM を追加する際には、IP アドレス変更前と同じホスト名を指定してください。ホスト名は、大文字、小文字を区別します。ホスト名が変更されると、SigmaSystemCenter は別の管理サーバ for DPM であると判断するため、管理対象マシンを正しく認識することができなくなります。

15. DPM の Web コンソールで [詳細設定] 画面の [全般] タブの [IP アドレス] の設定を「ANY」に変更した場合は、必要に応じて管理サーバの IP アドレスを再設定してください。
16. DPM の Web コンソールから IP アドレスを変更した管理サーバに登録されているすべてのコンピュータに対してシャットダウン、またはリモートアップデートのシナリオ実行を行います。

【SystemProvisioning での設定変更】

管理サーバの IP アドレスを変更した場合、SystemProvisioning では以下の設定が必要となります。ホスト名変更の場合は、IP アドレスをホスト名に読み替えてください。

- ◆ SystemProvisioning のサブシステムを管理サーバにインストールしている場合、サブシステムの設定を変更してください。
 1. タイトルバーの [管理] をクリックし、[管理] ビューに切り替えます。
 2. [管理] ツリーから [サブシステム] アイコンをクリックします。
 3. [設定] アイコンをクリックします。メインウィンドウに「サブシステム編集」が表示されます。
 4. IP アドレスを変更します
 5. [OK] をクリックします。

【SystemMonitor 性能監視での設定】

SystemMonitor 性能監視管理コンソールに設定されている管理サーバや監視対象マシンのホスト名として IP アドレスが設定されている場合は、変更後の IP アドレスに設定変更を行う必要があります。以下の手順に従って変更してください。

関連情報: SystemMonitor 性能監視の操作手順の詳細は、「SystemMonitor 性能監視ユーザズガイド」を参照してください。

◆ 管理コンソールの設定

SystemMonitor 性能監視管理コンソールの設定で、管理コンソールの情報のホスト名として管理サーバの IP アドレスで登録している場合は、設定変更を行ってください。

注: SystemMonitor 性能監視の管理コンソールを利用していない場合は、設定変更は必要ありません。

1. メインメニューから [ツール] - [管理コンソール情報] を選択します。
2. [管理コンソール情報] ダイアログボックスの [ホスト名] を確認し、必要に応じて変更します。
3. [OK] をクリックします。

◆ 管理サーバの接続設定

SystemMonitor 性能監視管理コンソールに登録されている管理サーバの IP アドレスが変更される場合は、管理サーバの設定を一旦削除し、変更後の IP アドレスで管理サーバを登録します。

1. メインウィンドウのツリー上で古い IP アドレスで登録されている管理サーバを右クリックし、[管理サーバ登録削除] を選択します。
2. メインメニューから [ツール] - [管理サーバの追加登録] を選択します。
3. [管理サーバ] ダイアログボックスが表示されますので、新しい IP アドレスを設定します。
4. [OK] をクリックします。

◆ SystemProvisioning の接続設定

SystemMonitor 性能監視に登録されている SystemProvisioning 管理サーバ名として、変更された管理サーバの IP アドレスを指定している場合、設定の変更が必要です。

注: SystemProvisioning 構成情報の反映機能や SystemProvisioning への性能異常通報機能を利用しない場合は、本指定は必要ありません。

1. メインウィンドウのツリー上で管理サーバを右クリックし、[環境設定] を選択します。
2. [環境設定] ダイアログボックスの [SystemProvisioning] タブの[SystemProvisioning 管理サーバ名] を確認し、必要に応じて変更します。
3. [OK] をクリックします。

◆ サーバの接続設定

SystemMonitor 性能監視に登録されている監視対象マシンとして、管理サーバも登録している場合には、設定の変更が必要です。

1. メインウィンドウのツリー上でマシン名を右クリックし、[マシン設定] を選択します。
2. [マシン設定] ダイアログボックスが表示されますので、[マシン名] と [IP アドレス] を確認し、必要に応じて変更します。
3. [OK] をクリックします。

【ESMPRO/ServerManager, ServerAgent での設定】

管理サーバの IP アドレスを変更した場合、ESMPRO Manager では以下の設定が必要となります。以下の手順に従って変更してください。

◆ ESMPRO/ServerManager の設定変更項目

マネージャ間通信を使用している場合、IP アドレスを変更した管理サーバとマネージャ間通信を行っている、相手のマシン (隣接マネージャ) 上に設定している IP アドレスを変更してください。

1. オペレーションウィンドウのメニューから [オプション] - [カスタマイズ] - [マネージャ間通信]を選択します。
2. マネージャ間通信画面の[隣接マネージャ]タグに設定されている接続先アドレスを新しいIPアドレスに変更します。

◆ ESMPRO/ServerAgent の設定変更項目

通報の送信設定 (高信頼性通報) に管理サーバの IP アドレス / ホスト名を指定している場合、「2.6.1.Windows マシンから通報の送信設定を行うには」 「マネージャ通報 (TCP/IP In Band)」を参照して、再設定してください。

注: ホスト名を指定している場合でも、本手順を実施し、新しい IP アドレスとホスト名を連携させます。

通報の送信設定 (SNMP トラップ) の下記設定で管理サーバの IP アドレスを設定している場合、「SigmaSystemCenter 2.1 コンフィグレーションガイド」の「Windows マシンから通報の送信設定を行うには」 「SNMP Trap」を参照して再設定してください。

- ・ SNMP Trap 送信先にマシンの IP アドレスを指定している場合
- ・ SNMP Service のセキュリティ設定にて「これらのホストから SNMP パケットを受け付ける」にマシンの IP アドレスを指定している場合

◆ ESMPRO/ServerAgent (VMware) の設定変更

SNMP 通報手段を使用している場合は、「通報基本設定」画面の通報手段一覧から「マネージャ通報 (SNMP)」を選択して表示される、「SNMP トラップ設定」画面にてトラップ送信先を変更してください。SNMP 通報手段以外を使用している場合は、

[通報先リストの設定] を選択して表示される「通報先リストの設定」画面にて通報先を変更してください。

注: 通報設定変更は、コントロールパネル (ESMamsadm) から行ってください。

<コントロールパネル (ESMamsadm) の起動方法 >

1. root 権限のあるユーザでログインします。

2. ESMPRO/ServerAgent がインストールされているディレクトリに移動します。

```
# cd /opt/nec/esmpro_sa
```

3. ESMamsadm が格納されているディレクトリに移動します。

```
# cd bin
```

4. コントロールパネル (ESMamsadm) を起動します。

```
# ./ESMamsadm
```

5. 以下のファイルにて、snmpd に対して IP アドレスによるアクセス制限を行っている場合は、IP アドレス変更などの設定変更をします。

```
/etc/snmp/snmpd.conf
```

```
/etc/hosts.allow, hosts.deny
```

作成日:2010.12.22